

長沼町長 戸川 雅光



新年を迎えて

あけましておめでとうございます。平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様には日頃より、町政の推進に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月4日から5日にかけて、台風21号が北海道に接近し、気象庁によりまずと、本町では観測史上1位を更新する日最大瞬間風速29・6m/sを観測し、町が単独で設置している西長沼の観測地点では、最大瞬間風速41・3m/sを観測しました。全町的に停電したほか、町内各地で多くの倒木が発生、また、農業用ビニールハウスの倒壊など、本町は大きな被害に見舞われました。台風被害による復旧作業もままならぬ中、9月6日未明に、胆振東部地震が発生し、北海道全域29.5万戸が停電となる大規模停電（ブラックアウト）が発生しました。過去に経験のない事態に北海道の経済、物流は停止し、住民生活に大きな影響を及ぼしました。被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。本町では、今回の災害を経験し、この反省を踏まえ、さらなる防災体制の強化を図ってまいります。

本町と姉妹都市であります奥州市出身の米大リーグ・エンゼルス所属大谷翔平選手の絵が、11月1日から3日開催の長沼町民文化祭で展示されました。大谷選手の作品は、水沢市（現奥州市）の市立姉妹小学校1年生だった2001年に描いたもので、姉妹都市の児童作品交流で本町に送られ、保管されていたものを、今回初めて一般公開しました。この公開は、テレビや新聞で大きく報じられ、町内外から多くの皆様が来場し、同時に開催された奥州市物産展と合わせて大盛況となりました。大谷選手は、右肘手術の影響で、来季は打者としての出場が見込まれておりますが、活躍を大いに期待いたしますのであります。

長沼町では、平成28年から「タンチョウも住めるまちづくり」に取り組んでいきます。昨年は、舞鶴遊水地で4月から12月までに、3羽のタンチョウが確認されました。このような環境の中、舞鶴遊水地では、長沼中央小学校5年生が「総合的な学習の時間」で環境教育を実践するなど、遊水地の利活用が進んでおります。農業関係では、6月から7月にかけての

低温や日照不足、長雨などの影響により、水稲の作況指数は87となり、平成21年以来9年ぶりの「不良」となりました。収量は厳しい結果でしたが、その中でも「米の館」受入実績の一等米比率は99%と高水準を維持し、営農技術の高さを示すこととなりました。

我が国の農業を取り巻く情勢は、関税削減や輸入枠拡大により、農業をはじめ地域経済への大きな影響が懸念される所であり、こうした懸念に対する丁寧な説明と、農林水産業振興及び地域活力維持のために必要な対策を、関係機関と連携し、政府に求めてまいります。

さて、現在、我が国においては、急速な少子高齢化と地方の人口減少が深刻な課題となっており、国を挙げて地方創生に取り組んでおります。本町においても、子どもを安心して産み、育てられる環境の充実を図っており、まもなく児童館が完成いたしますので、大いに活用されますようお願いいたします。

本年も、子育て支援や雇用の創出等の施策に積極的に取り組み、第5期長沼町総合振興計画において目標に掲げた「ひと・緑」がかがやく田園と交流のまちの創造を目指してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が幸多き素晴らしい年であり、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

長沼町議会議長 駒谷 広栄



年頭所感

あけましておめでとうございます。輝かしい平成31年の新春を迎え、長沼町議会議長を代表いたしまして心からお慶びを申し上げます。町民の皆様には、常日頃から議会活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を顧みますと、何よりもまず、多くの自然災害に見舞われた一年でありました。その中でも、9月初旬の台風21号の接近、その翌日発生した北海道胆振東部地震と連続した大きな災害により、猛烈な風による農業被害をはじめ経済活動における影響だけでなく、地震後の大規模停電により日常生活にも混乱が生じました。道内では、本町と同じく岩手県奥州市の姉妹都市である厚真町をはじめ、多くの方が犠牲になられました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。さて、基幹産業である農業は、6月以降の

長雨、低温及び日照不足の影響もあり、水稲の作況指数は87となり、平成21年以来的不良を記録した一方で、本町産米の一等米の比率は極めて高水準を維持されたことは、ひとえに関係者の努力と工夫の賜であります。また、大豆をはじめ多くの作物も同様に天候の影響を受けましたが、この逆境にめげず、新しい年こそ天候に恵まれ、豊稔の秋となりますことを心から願うものであります。

我が国の農業を取り巻く情勢としましては、米国を除く参加11か国による「TPP11」協定ならびに欧州との間の経済連携協定発効の動きなど、世界的な自由貿易の新たな枠組みの形成により、国内での生産額減少や農業及び関連産業の規模縮小が懸念され、本町における農業以外の商工業をも含め、地域の経済や社会に極めて大きな影響を及ぼすことも危惧されます。農業を基幹産業とする本町の将来を左右する極めて重大な問題であることから、町議会としてもこの状況を重く受け止め、国の施策や今後の動向について十分注視していく所存であります。

さて、我々議員の任期も残すところ3か月となりました。町民の皆様とともに本町の発展を第一に考え、複雑多様化する現代社会に山積する課題に無我夢中で取り組んできた4年間であります。地方分権に伴い自治体が担う役割は増大する中、本町の行財政を取り巻く状況は依然として厳しいものがございますが、将

来を見据えた魅力あるまちづくりを進めていくため、町議会としまして、少子高齢化、人口減少、各産業の担い手不足など多くの課題に向き合い、これまで以上に町民・行政・議会が密接に連携して、町民の代表としての自覚を持ち、その職責を果たすために全力で努力する所存です。その結果、町民の皆様には、町議会に対する関心とご理解をなお一層深められ、議会をより身近なものと感じていただければ幸いに存じます。一昨年は本町に開拓の礎が築かれてから130年、昨年は北海道と命名されてから150年となる節目の年でありました。着実に歩みながら発展を続け、今日の基礎を築いてくださった先人たちの名に恥じぬよう、その勇氣と気概を受け継ぎながら、町民の皆様と議員一人ひとりの連携、協働のもと、直面する諸課題に果敢に挑戦して参ります。

干支の「亥」は、「骨格」「骨組み」という元来の意味から、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していることと、今年は「現状の繁栄・成長している状態を維持することに徹すべき年」「安定した繁栄・成長の礎を築くべき年」とも言われます。平成31年の新春に臨み、町民の皆様におかれましては、本年が災害事故に見舞われることなく、幸せで実り多く、また、今後の飛躍に向けた希望あふれる年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

町長 戸川 雅光
副町長 齋藤 良彦

総務財政課長 塩谷 友章
政策推進課長 駒谷 大敏
同企画官 下川 昇
税務住民課長 矢野 敏博
保健福祉課長 森下 豊和
産業振興課長 宇野 智幸
都市整備課長 柏野 雅美
同理事 安達 史恭
会計管理者 中原 隆徳

教育委員会
教育長 小西 教夫
同職務代理者 水野 正一
委員 井形 昭夫
田村 広道
天野 直樹
青野 孝弘
長井 義弘
社会教育課長 齋藤 一弘
同理事 斎藤 義弘

町議会
議長 駒谷 広栄
副議長 佐々木 信彦
議員 仲山 秀貞
曾我部 義子
清水 慧郎
清部 哲郎
南部 一己
高瀬 武久
越路 克己
山本 儀一
平井 正司
中本 修二
松田 亨
荻原 一
奥原 一
事務局長 ほか

町立長沼病院
院長 倉敏 俊郎
副院長 佐々木 宏嘉
循環器科部長 田中 利明
総看護師長 横山 さとみ
事務局長 高田 秀一
ほ ほか

老人保健施設「いこい」
施設長 安川 健一
ほ ほか